



夢をもち 自ら動き たくましく生活する 児童の育成

校長だより(保護者の皆様)



呉市立音戸小学校 校長 中外 智子 令和7年7月9日 第4号

保護者の皆様には、いつもお世話になっております。

梅雨が終わり、暑い日々が続いています。熱中症予防に細心の注意を払いながら、水泳指導や1学期のまとめの学習を進めています。保護者の皆様には、日々の体調管理や水筒の準備のご協力をいただき、感謝申し上げます。

□自分で考えて 動き始めています part 2

今年度、子ども達にがんばってほしいことの一つ「自分で考えて、動く」です。

最近では、音戸小学校のあちらこちらで、自分たちで考え、動いている子ども達がたくさんいます。私は子ども達の成長を感じ、嬉しくなって、胸が熱くなる場面も多くあります。最近の様子を、保護者の皆様に少しご紹介します。

いじめ撲滅キャンペーン委員会のアイデアもりもり！

6月3日～7月4日までの期間「いじめ撲滅キャンペーン」を行いました。

今年度は「先生たちにやらされた。」ではなく、「各委員会の子も達が考えた案を確実に実施しよう。」を合言葉に実施しました。

どの委員会も、アイデアもりもりで、子ども達が主体的に動いていました。「いじめを許さない」思いを様々な方法で伝えた5・6年生。その意気込みを学校全体に広げています。



図書委員会。心があたたかくなる絵本「999 ひきのきょうだい」を読み聞かせました。



保健委員会。「生活リズムは成長期の心身に影響すること」を番組風に制作し、見事に発信。



広報委員会。「思いやり・友情」をテーマにした先生おすすめの曲を取材し、昼に流しました。



計画委員会。「いじめ撲滅」標語やキャラクターを募集。「番組計画TV」で投票をよびかけました。



環境委員会。児童門そばの花壇に「コキア」「朝顔」を育てています。暑い中水やりもしています。



運動委員会。「みんなで遊ぼう、だるまさんがころんだ」を計画中。分担して各学級に伝達しました。

おたまじゃくしを救え！大作戦

「先生、大変です。」「おたまじゃくしが、この土日で死んでしまいます。」職員室に飛び込んできたのは、6年生。

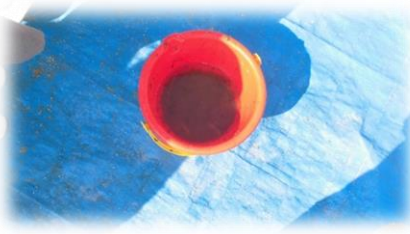
聞くと、砂場のシートにできた水たまりの中に、おたまじゃくしがいるとのこと。急いで行ってみると、50匹以上が元気に泳いでいました。しかし、この週末は、良い天気。水たまりは、間違いなく、干上がってしまいます。

「どうする?」「おたまじゃくしを脱出させましょう。」「でもどこへ?」「体育館前に小さい池があります。そこはどうでしょうか。」「いいね、やろう、やろう。」

早速、有志（生き物好きの子ども達）による「おたまじゃくしを救え！大作戦」が始まりました。手ですくう人、あみを持つ人…さまざまな方法で、どんどんおたまじゃくしをすくっていきます。あっという間に、バケツにいっぱいおたまじゃくしを確保することができました。

「先生、よかったです。ぼくは今日、このために学校に来たんです。」

小さな池に流し込み、無事、たくさんのおたまじゃくしを救うことができました。小さな命をいつくしみ、救った子ども達の行動力に感激しました。



□夏休み たくさんの「お仕事体験」を！

ぜひ、お子様に、いろいろな「お仕事（お手伝い）」をたくさん体験させてくださいませんか。普段から、されているご家庭もあるかもしれません。

また、「任せると時間がかかるから自分がやるほうが…」と思ってしまいがちです。（私もそう思うところがありました）

家事のスキルや習慣を身につけるだけでなく、「お仕事」は、子ども達の「自己有用感」（自分は人の役に立っている、自分にもできることがあるという気持ち）を育むことができます。「お仕事」をしたときには、「ありがとう。」と感謝を伝えると、さらなる自信につながります。学校でも、担任の先生方に「毎日一人一役」をつくるようにお願いして、実行しているところです。

私事で恐縮ですが、私も子どものころ「ともこは洗濯物をたたむのが上手だね。」と母にほめられたことが嬉しくて、張り切って洗濯物をたたんでいたことを今でもよく覚えています。（私は大ざっぱなので、実際はそれほどうまくなかったはずですが…）

得られた自信は、たくましく生きぬく力や良好な人間関係づくりにも波及していきます。ぜひ、この夏、お子様と相談して「お仕事」を決めて任せてみてください。

まだまだ、これから暑い日が続くようですが、生活のリズムを整え、十分な睡眠、バランスのよい食事、無理のない体力づくりを意識して健康に過ごせるよう、ご協力をお願いいたします。楽しく有意義な夏休みをお過ごしください。



音戸っ子の願いをちょっと拝見



地域の方のご厚意で、7本もの笹の葉を持ってきてくださいました。

早速、子ども達は、短冊に、思い思いの願いを書いて、笹の葉に飾っていました。

一人一人の願いには、その人らしさがあふれていました。中には、「こんなことまで考えているんだなあ。」と感心する願いもありました。

少しですが、ご紹介いたします。

家族が健康にすごせますように

スイッチ2を買ってもらいたいな

ダンサーになりたい

水泳が上手になりますように

毎日元気にすごせますように

災害や争いがなくみんなが仲良く暮らせますように

日本一楽しい授業ができる先生になる

勉強ができるようになりますように

ずっと平和でありますように

宿題をがんばれますように

漁しになれますように

ドッジボールでいっぱいボールがとれるようになりますように

わたしはきゅきゅ車をうんでんする人になりたい

いろいろな場所いろいろな場面で活躍したい

